



平成29年9月5日

各 位

上場会社名 トミタ電機株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 神谷 哲郎
 (コード番号 6898)
 問合せ先責任者取締役管理本部長 神谷 陽一郎
 (TEL 0857-22-8441)

特別利益の計上、及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成30年1月期第2四半期連結会計期間(平成29年5月1日から平成29年7月31日まで)において特別利益を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年6月9日に公表した平成30年1月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益について

平成30年1月期第2四半期連結会計期間(平成29年5月1日から平成29年7月31日まで)において当社が保有する国内上場株式の売却に伴い売却益が発生したため、特別利益として投資有価証券売却益3千2百万円を計上いたします。

2. 平成30年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年2月1日～平成29年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	737	3	△ 4	△ 6	△ 10.59
今回修正予想(B)	758	33	36	66	100.06
増減額 (B-A)	21	30	40	72	
増減率 (%)	2.9	953.4	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成29年1月期第2四半期)	686	△ 67	△ 194	△ 195	△ 297.09

3. 平成30年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,557	32	24	19	29.54
今回修正予想(B)	1,557	50	53	80	122.00
増減額 (B-A)	0	18	28	60	
増減率 (%)	0.0	56.9	116.4	312.9	
(ご参考)前期実績(平成29年1月期)	1,423	△ 87	△ 149	△ 125	△ 189.95

4. 平成30年1月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成29年2月1日～平成29年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	527	△ 16	△ 20	△ 22	△ 34.76
今回修正予想(B)	560	△ 7	△ 11	18	28.05
増減額 (B-A)	32	8	9	41	
増減率 (%)	6.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年1月期第2四半期)	517	△ 64	△ 180	△ 183	△ 277.49

5. 平成30年1月期通期個別業績予想数値の修正（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,107	△ 20	△ 22	△ 27	△ 42.00
今回修正予想(B)	1,140	△ 13	△ 15	11	1.81
増減額 (B-A)	33	7	7	38	
増減率 (%)	3.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年1月期)	978	△ 117	△ 156	△ 133	△ 201.99

6. 修正の理由

<連結>

平成30年1月期第2四半期連結累計期間におきましては、売上においては、フェライトコアは車載、産業機器向けを中心に順調に推移したため、売上全体としては予想より2.9%増の7億5千8百万円となる見込みです。損益面では、原価率の低減、経費削減等に努めた結果、営業利益は3千3百万円となる見込みです。経常利益は3千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益の計上により6千6百万円となる見込みです。

平成30年1月期通期連結累計期間におきましては、売上においては、車載、産業機器向けが順調に推移しておりますが今後の見通しに不透明な部分もある事から前回予測と同じく15億5千7百万円となる見込みです。損益面では引き続き原価率の低減、経費削減等に努める事で5千万円の営業利益、5千3百万円の経常利益となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は特別利益の計上により8千万円となる見込みです。

<個別>

平成30年1月期第2四半期個別累計期間におきましては、連結業績において記載した理由と概ね同様の理由により、売上高は予想より6.1%増の5億6千万円、営業損失は7百万円、経常損失は1千1百万円、四半期純利益は特別利益の計上により1千8百万円となる見込みです。

平成30年1月期通期累計期間の個別業績につきましては、連結業績において記載した理由と概ね同様の理由により、売上高は11億4千万円、営業損失は1千3百万円、経常損失は1千5百万円、当期純利益は特別利益の計上により1千1百万円となる見込みです。

(注意事項)

平成29年8月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純利益を算出しております。

上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上